

# 週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

## 「インボイス制度研修会」開催 — 11月2日(水) 水産会館 —



11月2日(水)、津水産会館において、2023年10月から導入を予定する適格請求書等保存方式(通称インボイス制度)、および、改正電子帳簿保存法等に関する研修会が開催された。当日はコロナ感染防止の為、ZOOMによるリモート接続併用による開催とし、県内漁協職員らおよそ50人(内リモート接続24名)が参加した。

研修内容は、上記の本年度以降対応を求められる2制度について、先に津税務署村松上席国税調査官より、「電子帳簿保存法」改正に関する事項、次に漁連服部常務より「漁協のインボイス制度導入と市場特例について」それぞれ制度概要、改正点および今後の対応方法について説明がなされた。また、研修会後半ではインボイス制度に対する事前質問への回答を行った。漁連指導部では引き続きインボイス制度対応に関する質問等を受け付けている。

### 研修会ポイント

○電子帳簿保存法改正(2022年1月1日施行)のうち電子取引データの保存は2年間猶予になった。(2024年1月より義務化)

○インボイス制度(2023年10月1日施行予定)

【重要】適格請求書発行事業者登録※  
登録申請は2021年10月1日より可能。

※制度開始当初よりインボイスを交付するには  
**2023年3月31日まで**  
に登録を済ませる必要がある。

【重要】卸売市場特例の申請(組合向け)  
不特定の水産物を扱う市場の仕組み上、出荷する組合員のインボイス交付を免除する特例。

(特例となる市場)11月2日時点  
中央卸売市場(三重県内該当0件)  
地方卸売市場(答志、安乗、波切、和具、贅浦、奈屋浦、長島、尾鷲、熊野、紀南)10地区のみ

上記以外は  
農林水産省(大臣官房総括審議官)への  
「基準を満たす卸売市場」の確認届出書※  
の提出で特例の適用が可能となる。

※受付期間

**2023年9月30日まで**

9月30日以降は申請ができなくなるので注意。

**届出の提出には事前連絡が必要です**

申請予定の市場を伝え、確認されれば手続き開始となります。

【問い合わせ先】

大臣官房新事業・食品産業部食品流通課  
卸売市場室 電話番号：03-3502-8111

月曜日から金曜日まで(祝日・閉庁日を除く。)の午前10時～午後5時(正午から午後1時までを除く。)

(農水省 HP：卸売市場特例について)

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sijyo/info/221001.html>

**山・川・海～思いやりの森造成運動の開催  
— 10月29日(土)岐阜県白川町 —**



10月29日(土)、岐阜県白川町の笹原高原にて「山・川・海～思いやりの森造成運動」が開催された。岐阜県白川町での開催は11回目となり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で前回開催から3年ぶりの開催となった。漁業関係者や関係団体などからおおよそ60名、桑名市立城東小学校からがおおよそ20名の合計80名ほどが参加した。

冒頭、漁連服部常務より「近年各地で発生する豪雨災害、土砂災害について、森林整備は重要な役割を持つ、また海を生業とする我々漁業関係者にとっても豊かな森林を維持することは、豊かな海を守り、育むために大変重要である。今後安心安全な国民の食を守るためにも、山と海の豊かな自然と環境を守る取組みを続けていきたい。」と挨拶し、白川町をはじめとする地元関係者の協力へ感謝の意を述べた。

当日はすっきりとした秋晴れとなり、少し汗ばむ陽気の中、下刈作業、枝打ち、整地などの森林整備のほか、城東小学校の生徒らによる植樹が行われた。参加者は慣れぬ山の作業にも関わらず「豊かな

海は森づくりから」との意識をもとに懸命に作業に取り組んだ。



のこぎりを片手に下刈を行う漁協青壮年部、女性部の参加者ら



作業終了後、白川町地元関係者より豚汁がふるまわれた。

**【主な予定】**

○11月15日(火)  
青さのり養殖研修会(松阪のりセンター)

○11月16日(水)  
全漁連功労者表彰(東京)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。